

【電子版】



2023年 第28号 2023年11月15日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール [info@jikosoren.jp](mailto:info@jikosoren.jp)

ホームページ→



# ライドシェア導入は絶対に阻止する

11・10中央行動

請願行動、座り込み行動、省庁交渉を実施

交運共闘は11月10日、憲法改悪阻止、戦争法反対、国民本位の交通政策実現、規制緩和反対、交通運輸労働者の労働条件改善を求めて、11・10中央行動を実施し、全体で約300人が参加しました。

10時から国土交通省への請願行動を開始。高城議長による主催者あいさつに続

いて、全労連の石川副議長、日本共産党の仁比参議院議員が連帯あいさつを行いました。

参加者一人ひとりが請願書を国交省の係官に手渡しする中、自交総連の庭和田委員長は「ライドシェア導入は絶対に阻止しなければならない」と決意表明を行い、建交労の鈴木書記次長、検数労連の高木副委員長、国土交通労組の阿川中執が続きました。シュプレヒコールを行った後、厚生労働省、経済産業省にも署名提出を行いました。

自交総連は、12時から衆議院第2議員会館前でライドシェア解禁へ抗議を示す座り込み行動にとりくみ、その後、国交省・厚労省と要請・交渉を行いました。（交渉結果は別号に掲載）

中央行動を実施＝2023. 11. 10 東京・国土交通省前



地方名	提出署名数		
	国交省	厚労省	経産省
北海道	71	71	72
東北	72	75	75
埼玉	170	170	170
東京	2917	2889	2890
神奈川	204	203	204
山梨	11	11	11
静岡	50	51	51
関西	180	158	155
山口	15	15	15
高知	7	7	7
福岡	20	20	20
長崎	20	20	20
鹿児島	11	12	12
本部	3	3	3
合計	3751	3705	3705

## ライドシェアが導入されればタクシーは破壊される

座り込み行動を実施＝2023. 11. 10 東京・衆議院第2議員会館前



「ライドシェア解禁阻止座り込み行動」では、自交総連から約100人が参加し、雨が降りしきる中、衆議院第2議員会館前で横断幕やのぼり旗、「ライドシェア反対」タオルを拵げて抗議の座り込みを実施しました。日本共産党から伊藤岳参院議員が駆けつけ、連帯のあいさつを行いました。

庭和田委員長はマイクを握り、「このライドシェア規制緩和の国会議論に対して我々には二つの大きな怒りがある」と切り出し、「一つ目は利用者の安心・安全が置き去りにされていること」とし、「二つ目はタクシー労働者の暮らしについてまったく顧みられていないことだ」と強調しました。「コロナ禍でタクシー業界には直接支援がなく、多くの労働者が職場を去った。この状況を口実に、女性が事件に巻き込まれ、交通弱者が取り残されるライドシェアを解禁しようとするなど許されない」と警鐘を鳴らしました。

続いて各地の代表が決意表明を行いました。

- ◎ **埼玉地連・石野委員長** 「タクシー労働者は安心・安全を第一に世界に誇る公共交通を担っている。ライドシェアが導入されれば、タクシーは破壊され、二度と戻ってこない。この闘いは負けるわけにはいかない」
- ◎ **神奈川地本・富松委員長** 「利用者がいないからタクシー会社が稼働していないのに、黒岩県知事はその地区で利用者が困っているからライドシェアをやるなどと言っている。本当の狙いは都市部であり、過疎地は口実に過ぎない。『神奈川版ライドシェア』は絶対にやらせない」
- ◎ **静岡地連・市村書記長** 「コロナ禍で大手会社が乗務員を大量解雇したため、地域がタクシー不足になった。そうした中で、ライドシェアなんてやられたら死活問題だ。私たちタクシー労働者のことを無視した議論が国会で行われている。ライドシェアは許してはならない」

その後、東京の代表者3人が発言しました。

決意表明が行われる中で、参加者はビラとポケットティッシュを配布し、通行人へライドシェアの危険性を訴えました。